

しまね大交流会2020 企画について

しまね大交流会2020実行委員会

高須佳奈

島根大学地域未来協創本部 地域人材育成マネジャー
しまね産学官人材育成コンソーシアム 企画プロデューサー

1 しまね大交流会とは

2 具体的な企画案

3 出展団体に期待する主な役割

4 出展団体に対する支援

1 しまね大交流会とは

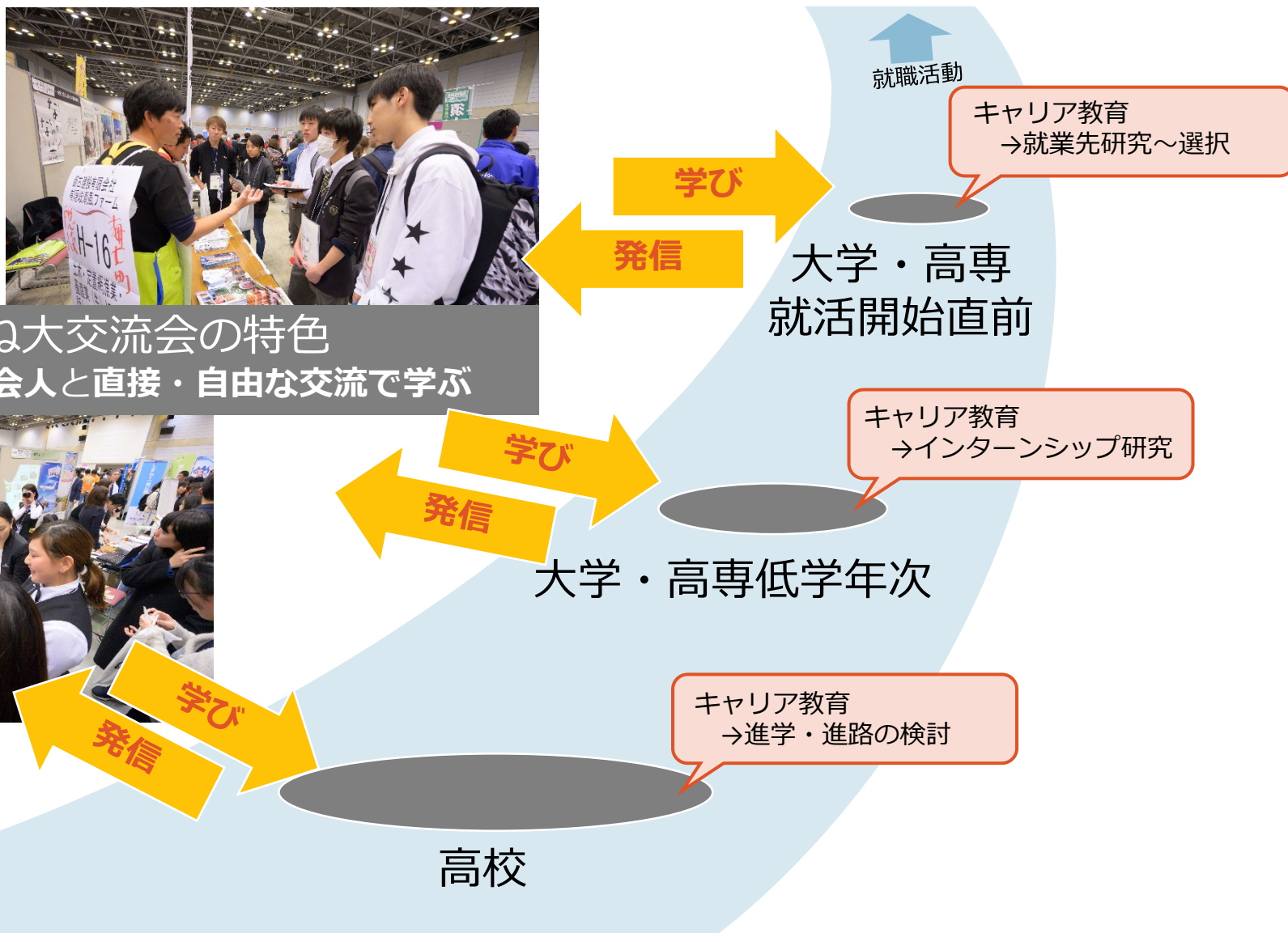
1 しまね大交流会とは

しまね大交流会は、多世代・多組織の年に一度の交流会。知り、学び、地域が「進化」する場「就職説明会」とは異なる性格を有し、若者・地域社会の次のアクションを促すイベント。



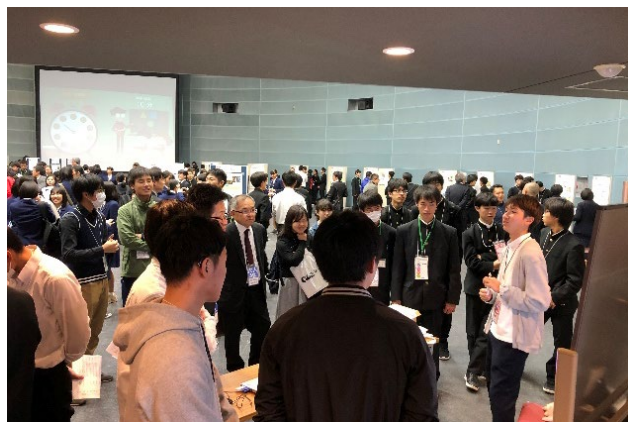
しまね大交流会の特色

地域の素敵な社会人と直接・自由な交流で学ぶ



1 しまね大交流会とは

しまね大交流会は、多世代・多組織の年に一度の交流会。知り、学び、地域が「進化」する場「就職説明会」とは異なる性格を有し、若者・地域社会の次のアクションを促すイベント。



1 しまね大交流会とは

しまね大交流会の特徴

しまね大交流会は、多世代・多組織の年に一度の交流会。知り、学び、地域が「進化」する場「就職説明会」とは異なる性格を有し、若者・地域社会の次のアクションを促すイベント。

1

- 動員数約2800名 (2019年度)
- └大学・高専・高校生等 約1700名
 - └出展社会人(産官学) 約1100名
 - └若者満足度は4年連続94%以上を達成



2

- 産官学のブース出展を参加者が自由に参観
- └地元企業約140社、自治体等約20団体、大学等約45団体
 - └自由参観+5分間プレゼンセッションを会場全体で複数回実施
 - └ブースでは、出展団体の魅力をわかりやすく説明



5

- 若者向け相談会
- └地元就職相談
 - └地元インターンシップ相談 など



3

- 高校生と大人の座談会
- └島根県教育委員会担当
 - └地元で活躍する大人を知る
 - └大学生によるサポート



4

- 若者による話題提供
- └高校生・大学生による地域への提言や探求の発信
 - └大人からのアドバイス



6

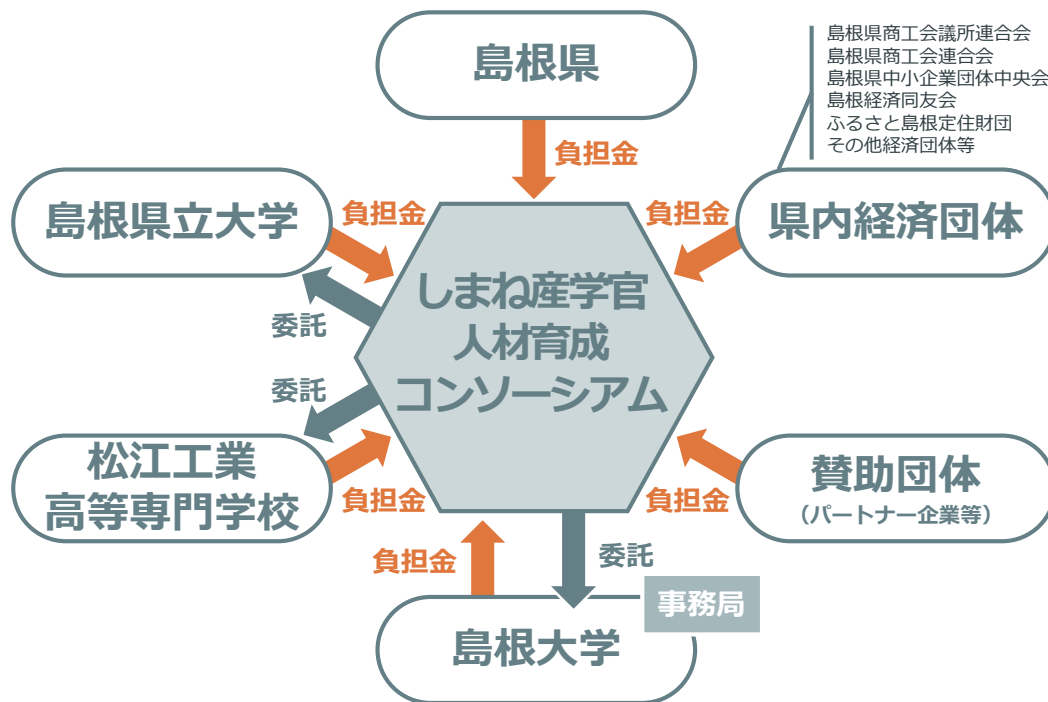
- 地域の産業人のパワーアップ
- └大人向けセミナーで若者の動向や、都市部の価値観の変化を知る
 - └若者による出展ブース投票



1 しまね大交流会とは

✓ 今年度からコンソーシアム事業として実施

県内大学と企業、県等がコンソーシアムを設立し、地域を支え、地域で活躍する若者の人材育成と県内定着を目的とした取組を進める。



ステージ		主な施策	主たる担当	
①	島根の企業を広く知る	企業交流会 バスツアー 等	島根県	パートナー企業
②	関心の高い企業を深く知る	企業等と連携した教育プログラム しまね大交流会 等	高等教育機関	
③	企業を選択する	インターンシップ 企業ガイダンス 等	定住財団	

✓ 「しまねで活躍したい若者」を増やし、地域の持続可能性の向上を目指す。その実現のため、3つのステージを産学官の連携で切れ目なく取り組む。

✓ 各ステージの具体的な取組みのほとんどが、本COC+事業で開発・協働実施してきた教育コンテンツで構成されている

1 しまね大交流会とは

しまね大交流会は、
多学年への同時アプローチ + 反復アプローチのため、
毎年度、確実に開催することで実効性を持ちます。

前年から、今年度11/8（日）に開催を決定していましたが、
感染症の拡大状況に左右されない確実な開催と、
社会全体のオンラインへの舵切りを鑑みて、
今年度はオンライン開催と決定しました。

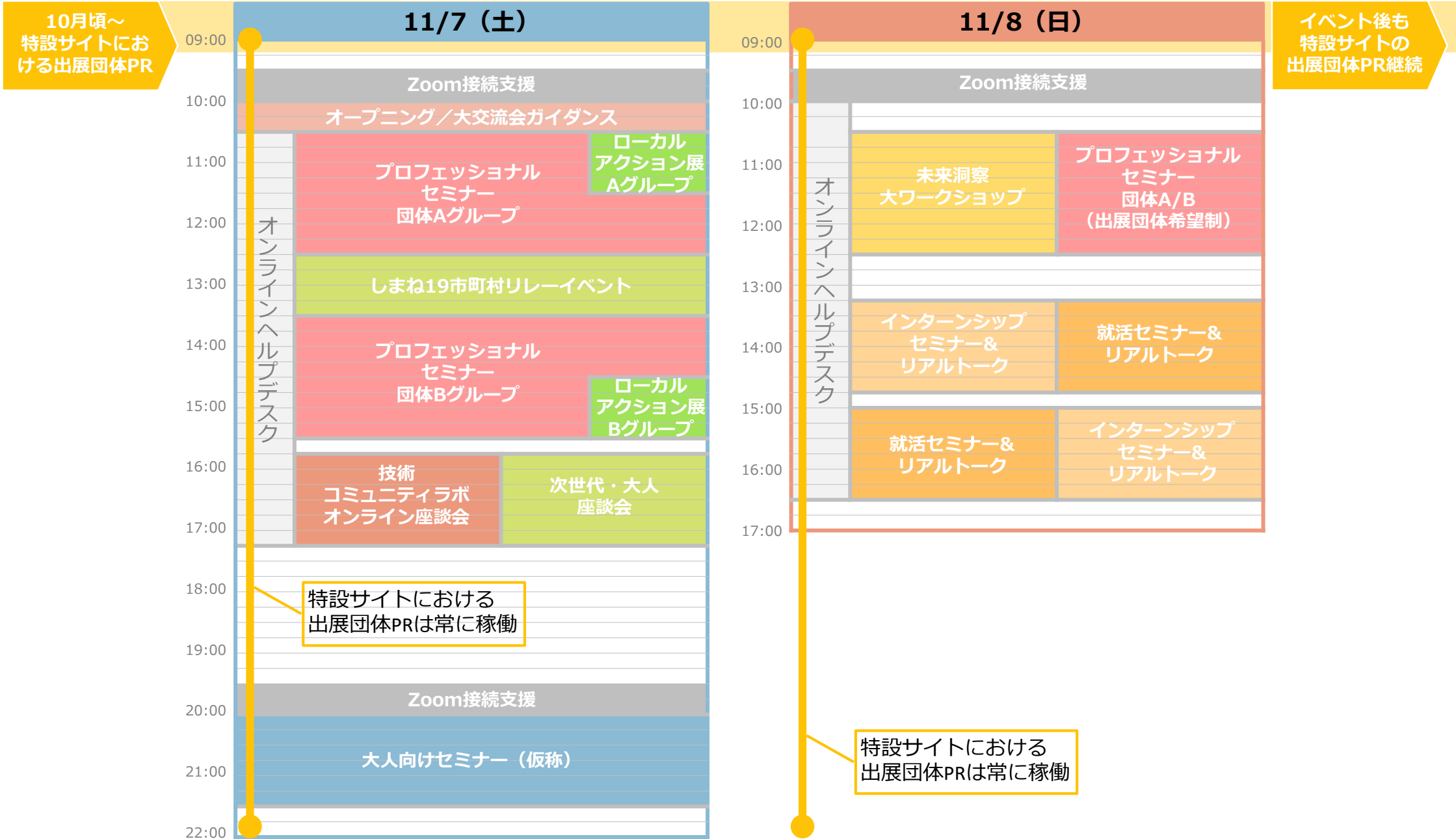
オンライン大交流会は、実行委員会も初めての挑戦となりますが
出展団体へのサポートを充実し、
成功に導きたいと考えています。

また、対面交流については、出展団体を訪問先とするツアー等を
別途企画することを計画しています。

2 具体的な企画案

2 具体的な企画案

○2020.8/3時点の予定です
○詳細な時刻については変更の可能性があります



2 具体的な企画案

✓ しまね大交流会を どのように オンラインに 進化させるか？

① 動員数約2800名

- └大学・高専・高校生等 約1700名
- └出展社会人（産官学） 約1100名
- └若者満足度は4年連続94%以上を達成

② 産官学のブース出展を参加者が自由に参観

- └地元企業約140社、自治体等約20団体、大学等約45団体
- └自由参観+5分間プレゼン大セッションを会場全体で複数回実施
- └ブースでは、出展団体の魅力をわかりやすく説明

③ 高校生と大人の座談会

- └島根県教育委員会担当
- └地元で活躍する大人を知る
- └大学生によるサポート

④ 若者による話題提供

- └高校生・大学生による地域への提言や探求の発信
- └大人からのアドバイス

⑤ 若者向け相談会

- └地元就職相談
- └地元インターンシップ相談 など

⑥ 地域の産業人のパワーアップ

- └大人向けセミナーで若者の動向や、都市部の価値観の変化を知る
- └若者による出展ブース投票

2 具体的な企画案

✓ そもそもオンラインの“取組”とは？

「オンライン授業」を例に

オンデマンド型

好きな時に
データに
アクセス

利用者がデータを
└直接ダウンロード
└データをストリーミング視聴
例：YouTube

併用型

同時双方向型

指定時間に
オンライン
参加

オンライン授業をする大学等では
└Zoom
└Teams
└Google Meet

✓ 「学」で得られた教訓を活用

- ① 対面イベントをそのままオンラインで実施するという発想は×。
→オンライン用のイベントを作るという発想が必要。
- ② オンラインでは「場にいるだけで何かが生まれる」ことがない。
→ターゲットに効果的に訴求する必要がある。
→Webサイト・アプリを最大限活用する必要がある。
- ③ 体験提供者側（運営&出展者側）は、特に発想転換が必要。
→参加者に届くのは「画」と「音」だけ。
→提供者側の習熟度合いが、参加者の満足度に直結する。
- ④ 同時双方向型は「その場でしか得られない価値創出」が必要。
→オンデマンド型と適切に組み合わせることで価値を最大化する。
→これまで不可能だったが「オンラインでなら実現できる取組」を組み込む。

2 具体的な企画案

✓ オンデマンドと同時双方向の併用

【事前の取組】

【大交流会当日】

【事後の取組】

当日までの間
特設サイトでターゲット訴求
オンデマンド型

11/7・8
同時双方向型
イベント

特設サイト継続
対面交流企画

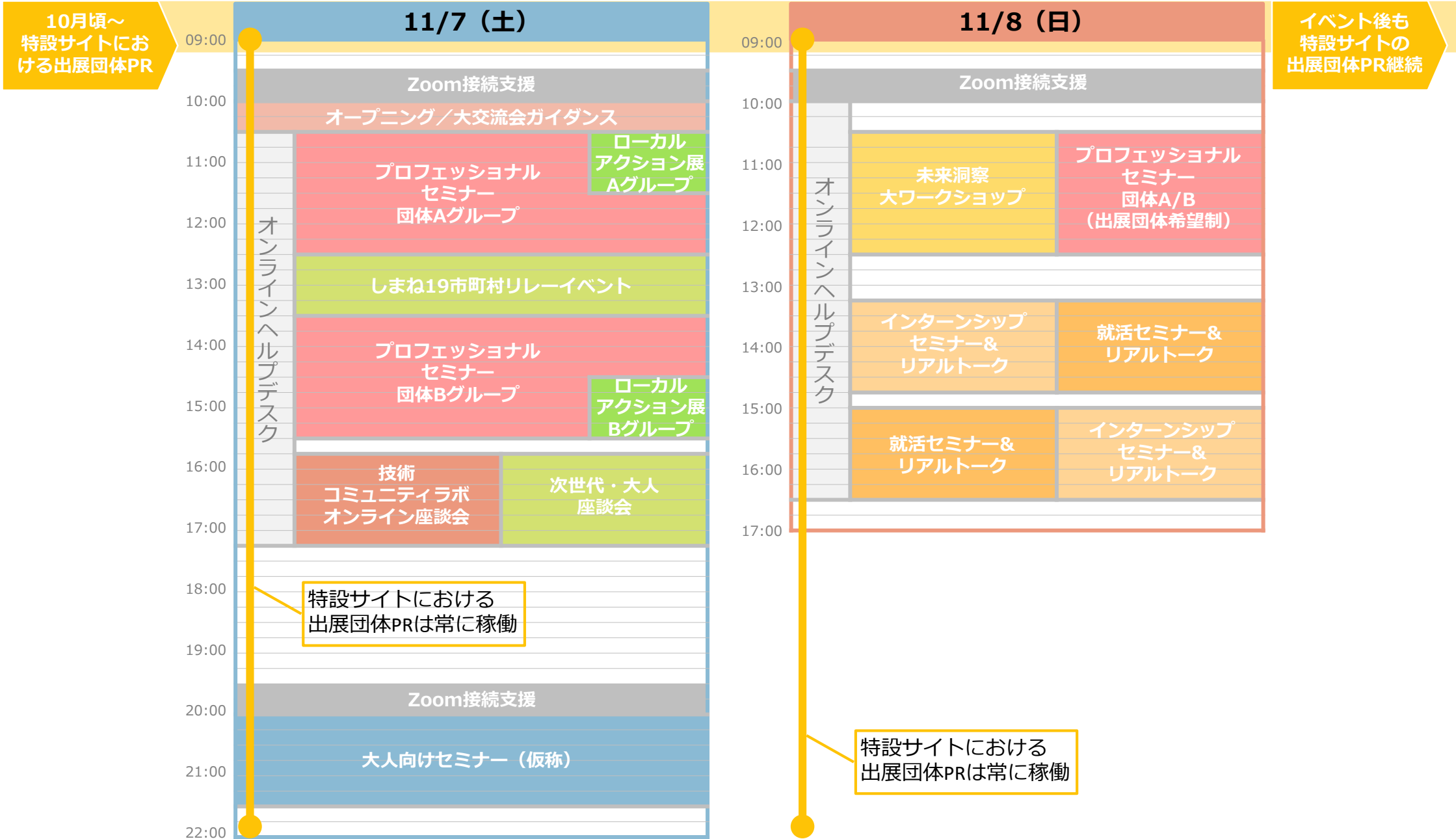
- ✓特設サイトにて出展団体の紹介動画を集約し、PR。
* 既成PV等の活用を想定
* 各団体のサイトへ誘客
- ✓特に2020年度冬・春期のインターンシップを企画している場合は、その説明動画も特設サイトに掲載。
- ✓出展団体事前研修会へ参加。

- ✓特設サイトにて出展団体の情報を入手している前提で参加者を受入。
- ✓出展団体から同時双方向型のセミナー等を提供。
- ✓出展団体に所属する社会人が、全体で行う各種交流企画に協力。

- ✓感染状況等を鑑みながらできるだけ時期をずらさずに対面交流ができるバスツアー等を企画。
- ✓出展団体によるツアー訪問受入の検討。

2 具体的な企画案

○2020.8/3時点の予定です
○詳細な時刻については変更の可能性があります



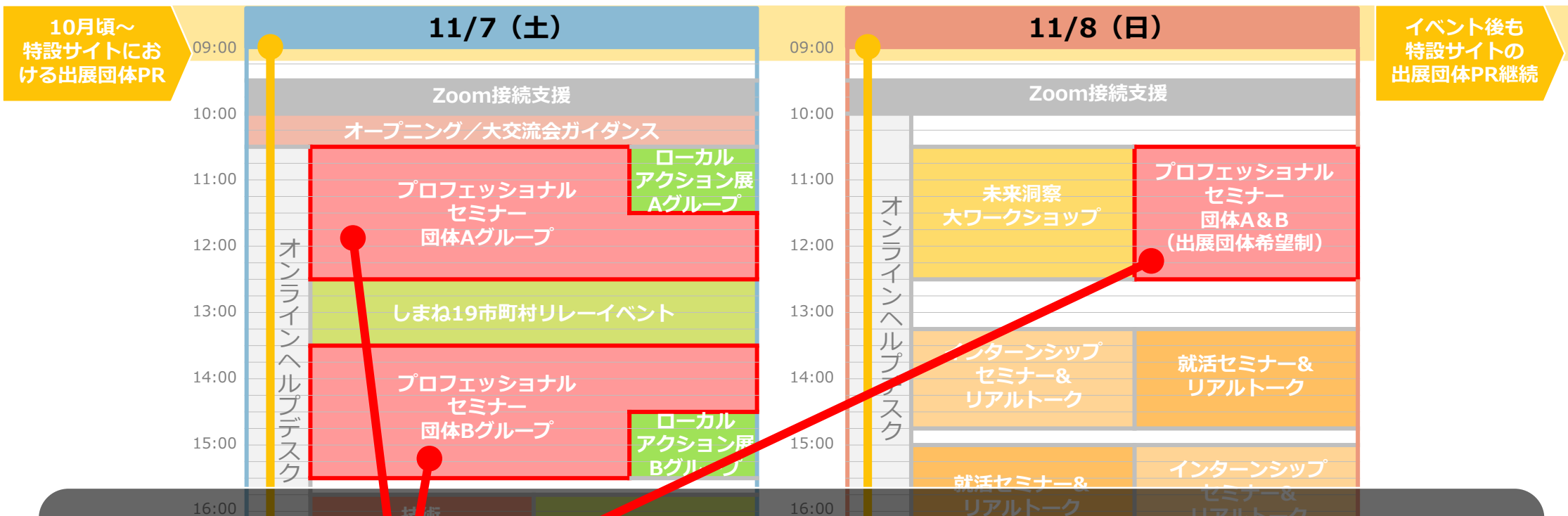
3 出展団体に期待する主な役割

3 出展団体に期待する主な役割

- ① 特設サイトに掲載する動画の提供（全ての出展団体）
- ② 出展団体が各々実施する「プロフェッショナルセミナー」の提供（全ての出展団体）
- ③ 出展者同士の交流企画への参加（任意）
- ④ 座談会等大規模に行うオンラインの取り組みにおいて「地元社会人」としての参加協力（人数に限りがあるため、一部の出展団体関係者）
- ⑤ 高校生等が発信側に立つ「ローカルアクション展」の参観と助言・交流（参観可能な出展団体関係者）

3 出展団体に期待する主な役割

○2020.8/3時点の予定です
○詳細な時刻については変更の可能性があります



- ②プロフェッショナルセミナーの提供
→各出展団体が同時双方向型で実施（*実施ガイドライン作成予定）。
→出展団体による、魅力の発信・交流は、「プロフェッショナルセミナー」と「オンデマンド配信動画」の「併用型」で実施。

3 出展団体に期待する主な役割

✓ 「プロフェッショナルセミナー」

● 概要

- 出展団体が、2時間程度の枠の中で、30分程度のセミナー（簡単な団体紹介を含む）を複数回実施するもの。
- 11/7（土）は、午前または午後の担当制で各出展団体が個別に行う（約50ほどのセミナーが併行で実施されていることになる）。11/8（日）の午前中は、希望団体のみがセミナーを提供する。
- 参加者は予め予約アプリで事前予約を行う。
- セミナー内容にもよるが、1回あたり参加者8～10名程度の規模感が、目が行き届き、参加者満足度が高いと思われる。
- 最少催行人数を設定することも可能。
- 研修会を通じてオンラインワークショップの作り方・ファシリテーションを学ぶことが可能。

● セミナーは団体紹介と「プラスアルファ」

プラスアルファの内容イメージ

- トップセールスマンが伝授！ 目標絶対達成術
- コツコツ派のあなたにおススメ！ 営業スタッフが伝える「メモカ」
- 心の底から「ありがとう！」 おもてなしの極意
- 電話一本で会社のファンになる人続出！ 電話応対力トップの事務スタッフが教える心のこもった応対術
- 「あなたから買ってよかった」セールスマンが教える「本当の営業」
- 島根にいながら東京の仕事ができる！ IT企業が教えるシステム開発って？
- 初開催！ オンライン工場ツアー＆職人たちの「仕事の流儀」
- 海外支社も参加！ グローバルに活躍する人材になるには？

- ★各団体による「ここでしか味わえない」交流型セミナー。
- ★大学・高専・県内高校出身など、参加する若者にとっての「先輩」の登場を期待しています。
- ★研修会を通じ、オンラインファシリテーションのノウハウや企画の作り方を支援します。

3 出展団体に期待する主な役割

○2020.8/3時点の予定です
○詳細な時刻については変更の可能性があります

10月頃～
特設サイトにお
ける出展団体PR

09:00

11/7 (土)

09:00

11/8 (日)

イベント後も
特設サイトの
出展団体PR継続

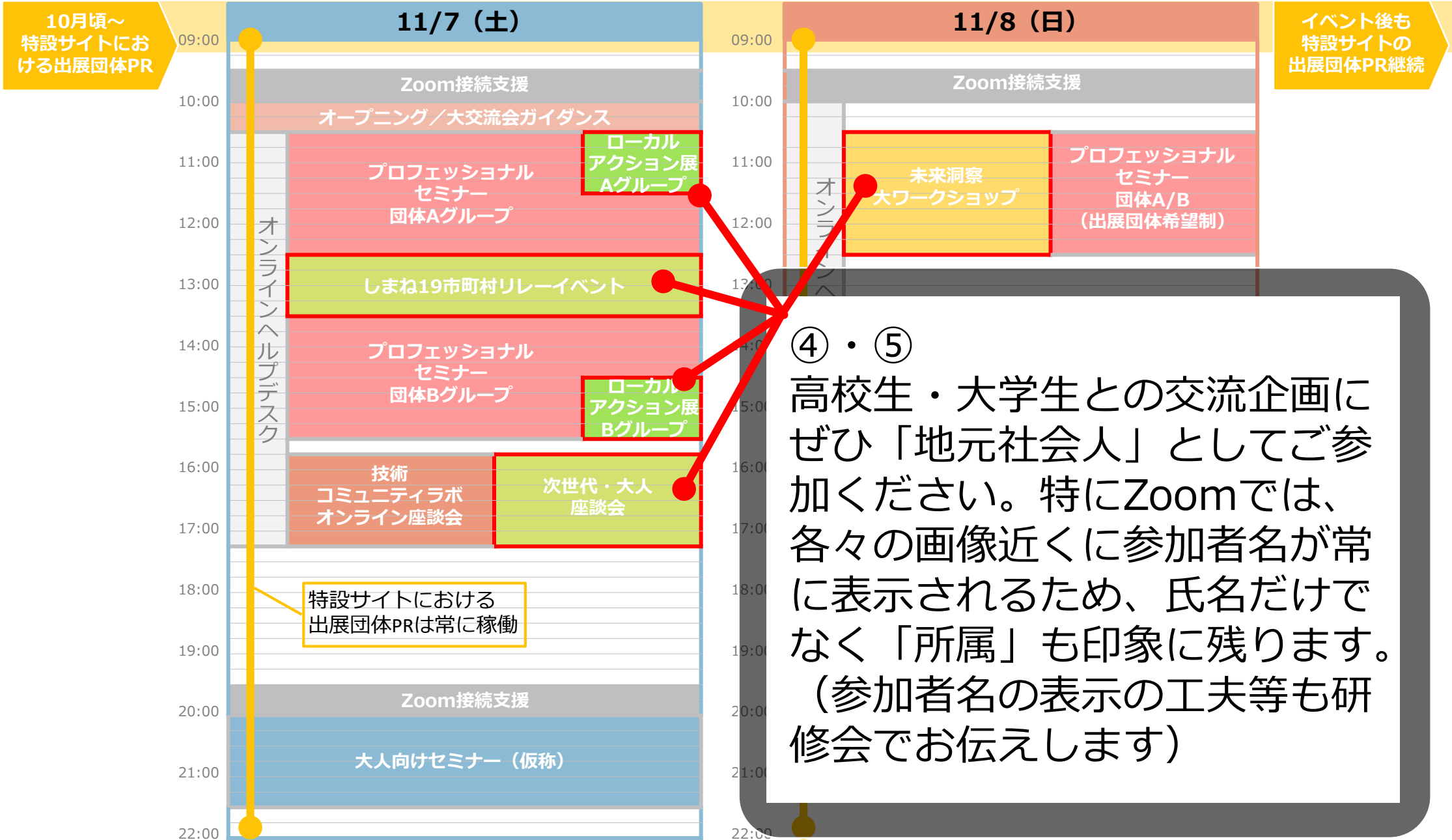
③出展団体同士の交流

「今だからこそ知っておきたい情報」をオンライン座談会や講演会形式で企画しています。参加は任意ですが、出展団体関係者のみ参加できます。



3 出展団体に期待する主な役割

○2020.8/3時点の予定です
○詳細な時刻については変更の可能性があります



4 出展団体に対する支援

4 出展団体に対する支援

出展要領記載の「出展メリット」のうち「事前研修会」について

	月	火	水	木	金	土	日	事前研修会の計画
9月	31	1	2	3	4	5	6	
	7	8	9	10	11	12	13	①「Zoom研修：ゲスト参加・機能体験編」 ②「Zoom研修：手軽なプレゼン動画制作」
	14	15	16	17	18	19	20	③「Zoom研修：ホスト開催～機能活用編」 ④「Zoom研修：参加者支援と事故対応編」
	21	22	23	24	25	26	27	⑤「オンラインセミナー」の設計基礎 ★個別相談会
	28	29	30	1	2	3	4	⑥「文字に気持ちを込める」目に留まる キャッチ・コピーの作り方 ★個別相談会
10月	5	6	7	8	9	10	11	⑦「ファシリテーション」の基本 ★個別相談会
	12	13	14	15	16	17	18	⑧「ファシリテーション」の実践指導 ★個別相談会
	19	20	21	22	23	24	25	⑨「ミニセミナーリハーサル交流会」
	26	27	28	29	30	31	1	
11月	2	3	4	5	6	7	8	★大交流会当日（11/7・8）
	9	10	11	12	13	14	15	

- ✓ 研修会は全て同時双方向型のオンラインで実施し、同内容を複数回反復実施します（事前申し込み制）。
- ✓ 研修会の効果を最大化するため、内容によっては少人数で実施します（その際は参加機会が均等になるよう反復開催数を増やします）。
- ✓ この他にも、企業等のオンライン活用事例を共有する会などを企画する予定です。
- ✓ 個別相談会を適宜開催します。
- ✓ ⑥～⑧は対面・オンライン関係なく汎用的に活用できる内容です。
- ✓ 全て60～90分程度で実施予定です。
- ✓ 日時は8月中旬に決定します。

多くの出展申込を
お待ちしております

しまね大交流会2020実行委員会